



# さつき沼ビオトーププロジェクト

## 絶滅危惧種とは

絶滅危惧種とは、近い将来に地球上(または国)から完全にいなくなる可能性が高い生物のことです。まだ絶滅してませんが、個体数が非常に少なくなっている生物のことを指します。絶滅危惧種はその絶滅の可能性の高さでランク付けされています。

- 絶滅危惧Ⅰ類 . . . . . 絶滅寸前の種
- 絶滅危惧ⅠA類 . . . . . 非常に近い将来、絶滅の危険性が極めて近い種
- 絶滅危惧ⅠB類 . . . . . ⅠA類ほどではないが、近い将来、野生で絶滅の危険性が高い種
- 絶滅危惧Ⅱ類 . . . . . 絶滅の危険性が増大している種
- 準絶滅危惧 . . . . . 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

私たちはさつき沼でⅡ類のマルタニシ、ゲンゴロウ、準絶滅危惧のドジョウを確認しました。